

第6回 建設産業戦略会議 議事概要

日 時：平成23年2月21日（月）17：30～19：00

場 所：中央合同庁舎3号館 4階幹部コーナー会議室1

○ 中間とりまとめに向けて、以下の事項について討議を行った。

- (1) 建設産業の現状と分析（建設投資の減少による影響、営業利益率の傾向、建設企業の小規模化等について）
- (2) 入札契約制度の現状と課題（ダンピング対策、災害対応・除雪など地域維持事業の実施体制、入札手続の効率性・手続負担等について）
- (3) 基本方針を踏まえた施策の全体像

○委員から以下のような発言があった。

（主に建設企業の小規模化、地域維持事業の実施体制等に関して）

- ・特に地域において、企業の細分化や、保有している建設機械数の減少が進んでおり、災害対応力のある企業がない地域が出てきている現状があるので、そこを何とかして、しっかりとした企業が地域に残るようにしなければならないというのが問題意識。
- ・建設業はどうしても繁閑があり、除雪のように季節変動の大きいものもあるので、そのあたりも考慮した対策が必要。
- ・担い手の確保のためには、包括的な契約で、受ける企業もまとまってジョイントベンチャーのような形で安定的に受注するという形が一つある。
- ・地域要件の設定のあり方についても検討が必要か。
- ・統合のインセンティブを与えることも必要ではないか。
- ・退場のルールを明確にすることも必要か。
- ・施策の提示にあたっては、ねらいを分かりやすく示すことも重要。

【今後の予定】

○ 次回は2月28日（月）に開催し、引き続き、中間とりまとめに向けた討議を行うこととなった。